

岩手・宮城内陸地震に係る荒砥沢地すべり対策と大規模地すべり
により出現した地形・景観の活用に関する検討会 第4回検討会

日時：平成22年1月20日(水)

13:00～15:00

場所：宮城県栗原市

栗原市市民活動支援センター

議事次第

1 開会

2 出席者紹介

3 座長挨拶

4 議題

- (1) 宮城県沖地震が発生した場合の全体ブロック再活動の危険性について
- (2) 土石流出の危険性について
- (3) 意見募集の状況、結果について
- (4) 今後必要な対策工の検討
- (5) 対策工実施後の危険区域の検討と観察事象
- (6) 今後のモニタリング計画
- (7) 活用に関する取り組み
- (8) その他

岩手・宮城内陸地震に係る荒砥沢地すべり対策と大規模地すべり
により出現した地形・景観の活用に関する検討会の構成

《検討会委員》

井良沢道也（岩手大学農学部准教授）

金澤 大樹（栗原市・耕英地区区長）

佐藤 勇（栗原市長）

中静 透（東北大学大学院生命科学研究科教授）

松浦 純生（独立行政法人森林総合研究所水土保全研究領域長）

宮城 豊彦（東北学院大学教養学部教授）（座長） ※以上五十音順

石田 祐二（東北森林管理局森林整備部長）

《オブザーバー》

社団法人日本地すべり学会東北支部、宮城県

農林水産省東北農政局（荒砥沢ダム管理者）

《事務局》

林野庁東北森林管理局

《スケジュール》

8月（第1回）、10月（第2回）、11月（第3回）、平成22年1月（今回・最終回）